

障害を持つ息子へ 息子よ。そのまま、いい。

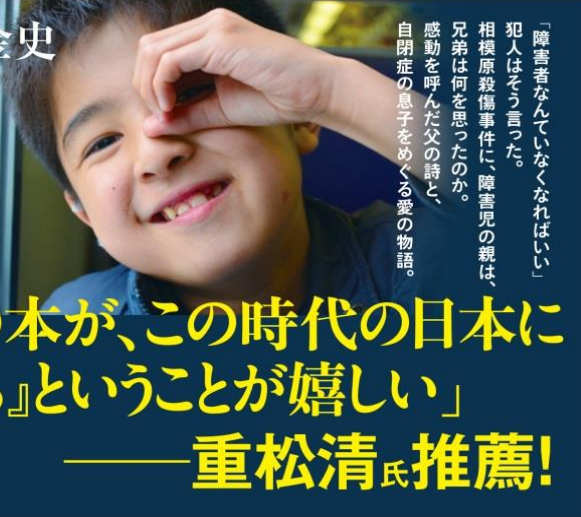
障害を持つ息子へ

～息子よ。そのまま、いい。～

息子よ。
そのまま、いい。
それで、うちの子。
それが、うちの子。
あなたが生まれてきて
くれてよかった。

神戸金史

Kanbe Kanbumi



「障害者なんていなくなればいい」
犯人はそう言った。
相模原殺傷事件に、障害児の親は、
兄弟は何を思ったのか。
感動を呼んだ父の詩と、
自閉症の息子をめぐる愛の物語。

「この本が、この時代の日本に
『ある』ということが嬉しい」

——重松清氏推薦!

ブックマン社

障がい者19人が犠牲になった相模原事件の3日後、父親がフェイスブックに投稿した一文が注目を集めた。「息子よ。そのまま、いい。」。自閉症の息子を慈しむ父親のメッセージは一気に広まった。

父親の名は神戸金史さん。RKB毎日放送東京報道部長で、息子を取材したテレビドキュメンタリー「うちの子～自閉症という障害をもって～」を制作した。日本における障がい者の現状や課題についても取材を重ね、公私にわたって障がい者問題と向かい合ってきた。神戸さんが著書、テレビドキュメンタリーに託した思いを語る。

日時

平成29年7月8日(土)

13:30～15:30(受付13:00)

プログラム:13:30～ テレビドキュメンタリー「うちの子～自閉症という障害をもって～」上映
14:30～ 神戸氏講演会

場所

長崎県立大学 シーボルト校中央棟M103講義室

講師

かんべ かねぶみ
神戸 金史 氏 (RKB毎日放送 報道局 東京報道部長)

参加費

無料

申込締切

7月4日(火) ※当日参加も可

メール、ホームページの申込フォームまたは裏面FAXより、
必要事項(氏名、ふりがな、年代)を明記のうえお申込みください。

[申込先・お問い合わせ先]

長崎県立大学 シーボルト校 総務企画課企画グループ 〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1
TEL: 095-813-5500 FAX: 095-813-5220 Email: kikaku-g@sun.ac.jp

障害を持つ息子へ 息子よ。そのまま、いい。

講師プロフィール



かんべ かねぶみ
神戸 金史氏

1967年、群馬県生まれ。91年に毎日新聞に入社し長崎支局に配属され、雲仙・普賢岳の大火砕流災害に遭遇。92～95年、島原市に住み込んで、災害取材に専従。4年間の記録を『雲仙記者日記 島原前線本部で普賢岳と暮らした1500日』(ジャストシステム出版部)として発行した。

99年から2年間、記者交換制度でRKB毎日放送(福岡市)に出向し、放送記者を体験。ドキュメンタリー『攻防 蜂の巣城 ～巨大公共事業との闘い4660日～』を制作、放送文化金賞で入賞。毎日新聞に復帰後、東京社会部で2004年、自閉症児の父親の立場からコラム「記者の目」の執筆や、『うちの子 自閉症とその家族』を連載した。

2005年、RKBに転職、福岡に戻る。ドキュメンタリー『うちの子 自閉症という障害を持って』で新聞連載を映像化し、JNNネットワーク大賞を受賞。

相模原殺傷事件から3か月後の2016年10月、自らの家族の歩みと自閉症児の家族への取材を綴った『障害を持つ息子へ～息子よ。そのまま、いい。～』(ブックマン社)を出版した。

FAX申込書

必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

メールでお申し込みの場合は下記事項を kikaku-g@sun.ac.jp までお送りください。

申込日	平成 年 月 日		
お名前 (複数名の場合は 全員分ご記入ください)	申込者	ふりがな	
		氏名	
		年代	(10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上)
	同行者1	ふりがな	
		氏名	
		年代	(10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上)
	同行者2	ふりがな	
		氏名	
		年代	(10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上)

[お問い合わせ先]

長崎県立大学 シーボルト校総務企画課企画グループ 〒851-2129 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL:095-813-5500 FAX:095-813-5220 Email:kikaku-g@sun.ac.jp